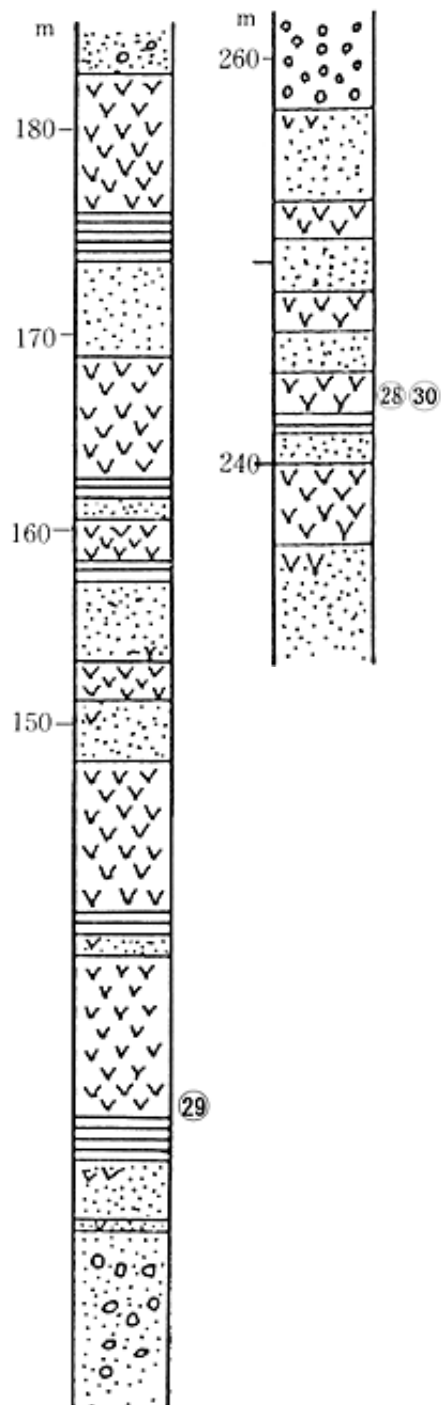


サワグルミ属 Pterocarya sp.



▲発見場所、神戸市北区
山田町の柱状図



▲2次脈は上方へ半円状に曲がる



▲円形翼を持っている堅果



▲サワグルミ属によく似たヒッコリー属で、2次脈は葉の縁までのび、あまり上方へ曲がらない。

サワグルミ属

葉は卵の形を細長くのばしたような形で、基部の部分で左右不ぞろいである。2次脈は多数みられ葉の縁り近くで上方へ曲がり、丸くなる。葉の縁りには小さな鋭いのこぎり葉がたくさんみられる。果実も産出しており、小さい堅果で円形翼をもっている所以他の果実と区別がしやすい。

白川累層上部の特定の凝灰岩層に含まれている。また、この化石によく似たものでヒッコリー属の葉の化石も産出する。

現生のサワグルミ属は、東アジア、トルコ、バルカン半島に約10種が分布している。

(クルミ科 サワグルミ属 *Ptreocarya* Kunth .)

28・29の写真はcyclocarya族の化石



[デジタル化](#) [神戸の自然シリーズ 16](#) [神戸層群の化石を掘る](#) [メニューへ](#)